

平成25年度第2回山縣市公共交通会議 議事概要

日 時 平成25年8月8日（木）午後1時30分～

場 所 山縣市役所 3階 大会議室

報告事項

前回からの経過報告

○会議資料により報告

伊自良北地区「地域バス調整会議」・ハーバス伊自良線調整結果
ハーバス大桑線の調整結果、岐北線神崎系統調整結果
運賃体系変更案

協議事項

○公共交通総合連携計画、地域協働推進事業計画、生活交通ネットワーク計画の性格について、会議資料により説明。

1. 市公共交通総合連携計画について

○再編集後の計画について、計画案により説明。

章立て、構成の変更

地域協働推進事業計画内容の位置づけ

国土交通大臣（運輸支局）と総務大臣（自治行政局）へ計画提出予定。

○連携計画は、活性化再生法に基づく計画。山州市の公共交通の柱となる。見直し、継続されていく計画であることに留意されたい。

○目標値について、乗車人員だけでなく、地域住民の満足度や評価にも留意されたい。

→計画 P4-26 PDCA サイクルによる進捗管理の中で、路線再編後の満足度等も把握していく。

○提示案で決定。

2. 地域協働推進事業計画について

○計画案により説明。

国様式、生活交通ネットワーク計画とセット、3年計画

計画認定申請書を運輸支局へ。

○新たな公共交通ガイドブックにタクシーの紹介もしてほしい。

○タクシーも最終手段の公共交通。地域住民に、タクシーもある、という認識を持っていただくためにも、掲載すると良い。

→掲載を検討したい。

○無料乗車券発行は、モビリティマネジメント、高齢者向け講座等と併せて行う方法も良いのでは。

→現在、高齢者介護予防事業に併せて利用促進講座、路線バスを活用した外出シミュレーションを試行的に実施中。その場での体験乗車券発行も検討したい。

○提示案で決定。

3 地域協働推進事業補助金申請について

○国土交通省地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域協働推進事業）交付申請書素案により説明。

地域協働推進事業計画認定を経て 8/31 までに国庫補助（1/2、2年間）申請へ。

○新たな公共交通ガイドブックは、毎年作るものか。

→自主運行バスだけでなく、営業路線も含めることを検討中。ダイヤは随時変更されるので、毎年発行を想定している。

○当補助金は立ち上げ補助。3年以上の取り組みに対し、最初の2年のみ補助対象。

○今後、申請内容について事務局で調整、申請予定。

4 生活交通ネットワーク計画案について

○生活交通ネットワーク計画素案により説明

地域協働推進事業計画認定を経て、特例による国庫補助（フィーダー系統）申請予定（地域協働推進事業計画認定を経て各種要件を満たすと、フィーダー系統新規要件が緩和される特例を使う）。

ハーバス大桑線・伊自良線、岐北線神崎系統が対象となる見込。

○平成 25 年 10 月ダイヤ・ルート改正実行が前提となる生活交通ネットワーク計画なので、改正の議決を先にすべきでは。

→平成 25 年 10 月ダイヤ・ルート改正を説明。

○平成 25 年 10 月ダイヤ・ルート改正案を決定。

○特例認められるか、県補助との関連も見極め、今後事務局で調整、申請予定。

5 今後の予定について

- 平成 25 年 10 月改正 自主運行バスガイドブック発行予定
- 地域協働推進事業計画・地域協働推進事業補助金が認められれば各種利用促進策を開始予定。
- 今後も引き続き地域バス調整会議開催を働きかけていく予定。

閉会

以上